

Cut No.	PICTURE	DIALOGUE & SOUND
C 01		
C 02		取引先の年上の女性との会話 男性社員 「先日は無理を聞いてくださり、ありがとうございました。 おかげ様で、何とか納期に間に合いました。」
C 03		取引先の女性 「なかなか厳しいスケジュールでしたが、 弊社としても最大限努力いたしました。」
C 04		男性社員 「本当に助かりました。」
C 05		(心の声) 「あっ、名前をど忘れしてしまった。えーと。」
C 06		「あの・・・ これもひとえにあなたの御尽力のおかげです。」
C 07		
C 08		取引先の女性 「ふふふ。おもしろいお礼ですね。 今後ともよろしくお願いしますね。」

Cut No.	PICTURE	DIALOGUE & SOUND
C 09		(心の声) 「あれえ、失礼な言い方だったかなー？！ どうしよう。」
C 10		[ナビゲーター] いかがですか？ なぜ取引先の女性は、お礼の言葉に違和感を覚えたのでしょうか。 「あなた」という言葉に問題がありそうです。
C 11		「あなた」という言葉は、本来は遠くを指し示す「あなた（彼方）」という言葉から生じた、敬意の高い敬語でした。 しかし、現在では、年齢や立場が同等、あるいは目下の人に対して使うことが一般的となっており、目上の人に対しては用いにくくなっています。
C 12		相手の名前を示さずに呼ぶことで、中立的な表現となる反面、やや冷たい響きを感じられます。したがって、目上の人に対する呼び方として適切だとは言えません。
C 13		それでは、この場面のように、名前を忘れた場合や名前を知らない相手に対して、どのようにしたらよいのでしょうか。
C 14		名前を知っている相手は、名前を呼ぶことができますが、名前を知らない相手には、その人の動作などに敬語を使えば、「あなた」という言葉を使わないようにできます。 例えば、次のような言い方です。
C 15		【適切な言い方】 佐藤様の御尽力のおかげです。
C 16		御尽力のおかげで大変助かりました。

Cut No.	PICTURE	DIALOGUE & SOUND
C 17		【まとめ】 いかがですか？ このように、「あなた」という言葉は、本来は敬意の高い敬語でしたが、現代では目上の人に対しては用いにくくなっていることから、目上の人に対しては、他の表現を使った方が適切となっています。
C 18		なお、「あなた」に中立的な語感があることから、会議や授業、面接試験などで、「話し手」と「聞き手」の双方がお互いにその点を理解しているのなら、「あなた」を使っても特に問題はありません。
C 19		言葉は、時代によって本来の意味から離れ、別の意味を持つことがあります。敬語も同じです。
C 20		今の時代の敬語の使い方を学んで、円滑なコミュニケーションが取れるようにしましょう。